

# ご挨拶

## 協会設立20周年と機関誌の刷新



(財)川崎市国際交流協会  
会長 國安 正昭

皆様方には、日頃から協会の様々な事業にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。川崎市国際交流協会は今年で20周年を迎えることができました。これも皆様方のご支援の賜物と改めて感謝申し上げます。

さて、皆様のなかにはこのSIGNALを手にとってびっくりされた方もいらっしゃるのではないかと思います。平成2年3月に創刊し、今年の4月(104号)まで続いてきました機関誌「K I A Nニュース」を20周年となる今年一新いたしました。皆さんにより親しんで頂けるものとするために、内容、構成、レイアウトを刷新、さらに名称も「かわさき国際

交流ニュースSIGNAL」といたしました。

協会では、20周年を迎え幾つかの取り組みを進めています。11月には20周年を記念するコンサートを、来年2月には外国人による日本語スピーチコンテストを拡充して開催いたします。また、協会の活動を紹介する映像の制作をはじめ、事業パンフレット、国際交流センターパンフレットを作成・改訂して参ります。これらの事業を通じまして、協会に対する皆様方のご理解がさらに深いものとなりますよう、祈念しております。

最後に、新しくなりましたこの「SIGNAL」を今後ともご愛読頂けますようお願い申し上げます。私のご挨拶とさせていただきます。

### 川崎市国際交流協会設立20周年

# みなさまよりお祝いのことばをいただきました。

あたたかいメッセージ  
ありがとうございます。



国際交流センターの敷地は「法政大学グラウンド跡地」として、その活用が議論されていた。川崎市は用地取得を一旦断念したが、政令指定都市の風格を備える施設として取得整備した。諸外国の例に学び外堀のない設計も特徴だ。

住吉地区町内会連絡協議会  
会長 長瀬 政義



国際交流協会設立20周年おめでとうございます。この間、協会と民間交流団体はインターナショナル・フェスティバルや地球市民講座などを共催してきました。特に、キルギス共和国との交流が始まり継続していることは両団体が共に協力してきた賜物であると思っています。これからも市民交流が一層深まることを願っています。

前民間交流団体連絡協議会  
会長 高島 厚子



協会開設以来、外国のお客様にお茶をさしあげて喜んで頂くことが励みになっています。「茶室木月庵を大切に作る会」を中心に、今後とも茶道の良さを人々に伝える努力をしてまいりたいと思います。

国際交流茶道研究会  
会長 長谷川 宗江

J O Y E U X  
ANNIVERSAIRE!! KIC  
has been an important  
place for me for more  
than 10 years. I've  
been enjoying teaching  
the French language courses there  
and privately, my children and I often  
play in the park and enjoy the  
events. Thank you to everybody who  
makes of KIC what it is!

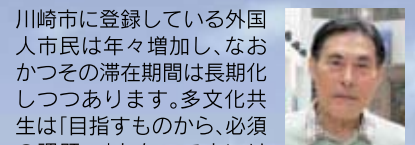


協会「フランス語講座」講師  
Alexandra Kremer



In the name of  
cross-cultural  
communication and  
greater global  
awareness, with its  
fascinating language  
courses, diverse and unique events  
and the dedication and hard work of  
the staff, the Kawasaki International  
Centre has become an integral part of  
life in the area. I sincerely hope to be  
part of this dynamic project for many  
more years to come. Happy 20th  
anniversary!

協会「初級英会話講座」講師  
Steve Lia



川崎市に登録している外国人市民は年々増加し、なおかつその滞在期間は長期化しつつあります。多文化共生は「目指すものから、必須の課題へ」となっており、20周年を期に協会の更なる活躍を祈念しております。

元国際交流協会事務局長 中村 博圓



最近、日本語教室で書道を少し勉強しました。「福」の字を何回も繰り返して書きました。書くとき、少しずつ集中力が高まって、悩みも忘れるようになりました。授業の後は気分がすっきりしました。川崎市国際交流協会のおかげで、とても良い経験が出来ました。

協会「日本語講座」学習者  
エリック・ティルキング

多文化共生社会の実現を目指す川崎市にあって、国際交流協会の果たす役割は今後益々重要になります。期待しています。

元協会職員 (KIAN担当)  
瀬崎 程子

設立20周年おめでとうございます。グローバルな川崎の多文化理解や交流が出来る場であって下さい。

協会所属 通訳翻訳ボランティア  
中森ジュリアみどり

さまざまな活動内容がKIAN(元機関誌名)を通じてよく分り、毎回楽しみにしています。今後も国際交流活動がますます充実することを祈願しています。



元協会職員(交流事業担当) 田辺 宏実



広く世界の人々と交流し、心を通わすことは、大切なことだ。お互いに似通うものを見出しては親しみを覚え、異質な文化に心打たれることで私達はそれを信頼につなげていく。積み重ねた二十年の実績を誇りたいと思う。



SIGNAL編集ボランティア  
校正担当 山路 孝重



留学生の受け入れは、日本に居ながら「異国の風」を感じることができ、良い機会になっています。今後も国際交流の輪が広がるよう頑張ってください！

協会所属 ホームステイボランティア  
服部 浩章・真美



講座の学習者を通して世界の国々が身近に感じられたことや、ボランティアが一体となって始

めた教科書制作(改訂続行中)などの活動により、協力しあうことの大切さと同時に喜びをも知ったことなど、貴重な体験をしている。

協会「日本語講座」ボランティア教師  
砂田 和江(左) 保木本 幸子(右)

私たちブレーメン通り商店街は、元住吉の地に国際交流センターが出来たとき、ドイツ・ブレーメンとの国際交流を続けている私たちにとってこの上もない喜びでした。



ブレーメンの会長を招き日独同時通訳で「商店街が取り組む環境問題」をテーマに国際シンポジウムを開催したことが思い出されます。

国際交流センターとブレーメン通り商店街の関わりはインターナショナル・フェスティバルでのバンド出演や設営の協力又ブラジルのサンバ・パレードや「おひさま発電」での協力など、様々な分野で深いお付き合いをさせていただいています。

これからも地域の国際交流センターとして、また名前が示すように国際性豊かな交流センターとして益々発展することを期待して、お祝いの言葉とさせていただきます。

モトスミ・ブレーメン通り商店街振興組合  
理事長 伊藤 博



## ボルチモア姉妹都市提携30周年とボーイスカウト交流

日本ボーイスカウト川崎地区協議会  
副会長 渡部 公

初めに、川崎市の姉妹都市であるボルチモア市との提携が今年30周年を迎えられたことに対し、心よりお祝いを申し上げます。

ボルチモア市とは行政、教育、民間団体等が様々な交流を行っていますが、ボーイスカウトの交流は1985年に第1回の派遣隊14名がボルチモア市を訪問して以来、相互交流を続け、今年で20回、延べ160名を派遣いたしました。

交流プログラムは、5泊6日の合同キャンプ、10日間のホームステイの日程で展開されます。ボルチモア連盟専用キャンプ場での合同生活、初めてのホームステイは、異文化生活は多感な時期にある中・高校生にとって大変貴重な体験となっています。訪問を契機に留学した者や国際関係に進路を決めた者もいて今まで積み重ねた交歓の成果と考えています。

このプログラムが続いている理由は、双方のリーダーの人的つながりが確立されたことや参加スカウト、ホストファミリーの口コミによる勧誘など、派遣・受入れ体制が出来上がったことが大きな要因と考えています。

最後に、この間ご支援を賜りました関係者の皆様に改めて感謝申し上げますとともに、今後も青少年交流を通じて両市の友好親善をさらに深めていきたいと考えております。



◎民間交流団体連絡協議会 結成15周年

## みんなが主役の交流団体に

会長 山本 忠利



民間交流団体の魅力って何なのだろうと考えてきました。答えはなかなか見つかりません。現在交流団体には68団体に参加しています。どの団体も「国際交流」という言葉に引かれ、「国際交流」に関わる活動に参加しようと、前向きに加わっていることは間違いないことだと思います。

国際交流活動の内容にこれといった決まりはありませんから、みんながしたいことをすれば良いわけです。自分たちの得意な分野の活動を外国の人に見てほしい、日本にいる外国人とそれぞれの国のこと、文化や子育てなど、なんでも話し合える機会を持ちたい、外国の文化と日本の文化の交流をしたい、日本で困っている外国の人たちを援助したい、etc…。

一人では出来ないことを、民間交流団体連絡協議会に入ることによって実現出来たらいいなあと言うのが、多くの参加団体の思いでもあるように思います。

民間交流団体連絡協議会も結成15周年です。ここで活動の有り様を考え直してみることも必要になってきているのかも知れません。交流団体に参加した時の真っ直ぐな気持ちを思い起こし、自らの要求で新しい企画を立ち上げる、参加団体のみんなが主役になる活動が始まったらいいなあと思っています。具体的にはそれぞれの部会がやってみたい企画をまず立てて、そこから何かを始めたいというのが私の願いです。みんなが主役の企画です。

前任の高島会長から会長職を受け継ぎましたが、私には荷が重いことは自明です。みなさまのお力添えを得て、みなさんの活動の守り立て役として、微力を尽くしたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。



祝  
協会設立20周年  
おめでとう!!